

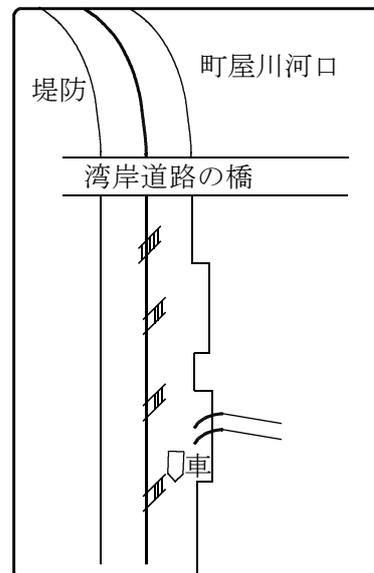
2018年8月17日(金) 町屋川河口

小潮 旧7月7日 干潮 3:47(83cm) 満潮 10:07(202cm) 干潮 15:53(95cm) 四日市港
干潮 3:41(89cm) 満潮 10:06(215cm) 干潮 15:50(102cm) 名古屋港
ハゼ 66尾 (全体的に小さい アベレージ8~9cm)

餌は前日、フィッシング遊にて購入 1杯

9時00分 実釣開始
10時07分 満潮(四日市;202cm)
12時00分 納竿、片付け
15時53分 干潮(四日市;95cm)

【仕掛け】 リユースのキス用自作仕掛け
中通しおもり 8号 天秤なし
石ゴカイ 1杯 「フィッシング遊」にて
合計476円+8%税=514円



【様子】

- 9:00現地着。河口から2番目の岸壁で釣った。ここには人がいなかった。
- 今年も岸壁のところまで車が入れた。
- 今回は餌を1杯だ。→ 一杯でちょうど良かった。
- エサは釣れる時にどんどん新しいエサを使うこと。
- 今年もハゼが多い。
- 8月下旬とあってか、小型が多い。
- 昆布巻きの芯用に釣りに来たが、処理の際、頭を落としたのは4~5尾だった。
- 満潮1時間前からスタートしてずっと釣れていたのだが、11時頃、あたりが止まったかなと感じた。その後は、あたりがなく、回収しても餌が残ってきた。それまでは、新しい餌を入れるとすぐに当たりがあり、2回当たりがあると、掛かっているか、餌を取られているかであった。
- 大潮の下げ潮で水があるときが良いと考えていたが、結果として、早朝の釣りとなる。
- 水があること=満潮前1時間30分前から満潮後1時間30分まで
- 時間帯は、「昼ではないこと」かな。
- 置き竿にはまったく掛からなかった。餌を取られてしまう。前回、置き竿でよく釣れた自作の全長150cmの竿でも同様だった。
- 餌を付けて投入すると、すぐに当たってきたことから、置き竿は止めて、手持ちですることにした。
- 針掛かりがよくない。あたりは極めて小さい。
- ツレはリユースの仕掛けから新品の仕掛けに交換した。しかし、その効果は感じられなかった。
- あたりが小さいが、大きなあたりが出るまで待った。小さなあたりが2回くらいあって、その後あたりがなくなってきたときには餌チェックをする。大概、餌は取られていた。
- 途中から、小さなあたりが“ぶるぶる”と少し続いたら、すぐに10cmくらい竿先を引いて、掛けにいくようにした。掛かっていることが多かったが、元々掛かっていたのか、この操作で掛かったのかは分からない。

- 11時頃当たりのが遠のいた。当たらないし、餌チェックをすると餌が残ってくる。ここから置き竿にした。自作150cmの竿、バスロッドともに、ときどき掛かっていた。
- 根掛かりで仕掛けが壊れた。ハリスが切れること2回だった。根掛かりはあまりなかった。

- 使い古しの仕掛けで良い。針先は研いでおく。8セット用意しておくと安心。
- 餌は1杯で良い。 ○竿は4本持参。
- 当たりが頻繁にあるときは手持ちで、当たりが遠のいたときには置き竿で釣る。
- 手持ちなら、好感度の穂先で、置き竿なら胴に乗る竿先が良い。
- 当たれば送り込むか、掛けに行く。
- 河口から2番目の岸壁に入る。
- 満潮2時間前からスタートしてはどうか。時間帯は、少なくとも昼前に終わるという時間帯とする。
- 根掛かりしないようにあまり誘わない方がよい。釣れているか確かめる時や餌チェックの時に少し誘う程度にする。巻く前に少し誘いを掛け、それでダメなら餌チェックとする。
- イス ○日よけに傘
- 10cmサイズは、唐揚げ用・昆布巻きの芯用とし、12cmサイズは松葉おろしで天ぷら用とする。